

[分類]	普及技術
[成果名]	移植水稻用中後期除草剤テッケン 1 キロ粒剤は水田雑草防除に有効である
[要約]	初期剤あるいは初中期剤との体系で、移植水稻にテッケン 1 キロ粒剤を移植後15日からノビエ 4 葉期に 1 kg/10a処理することで、一年生から多年生雑草まで効果的な水田雑草防除が可能である。
[担当]	農業試験場作物部・農業技術課
[部会]	作物部会

1 背景・ねらい

除草効果の高い移植水稻用中後期除草剤の実用性を検討し、新しく利用できる剤として普及技術とした。

2 成果の内容・特徴

移植水稻に初期剤あるいは初中期剤との体系で、テッケン 1 キロ粒剤を移植後15日からノビエ 4 葉期に 1 kg/10a処理することで、一年生から多年生雑草まで効果的な水田雑草防除が可能である。

農薬登録内容

テッケン 1 キロ粒剤

[一般名および成分含有量] ペノキススラム：0.5%、ベンゾビシクロン 2.0%

[毒性] 人畜毒性：毒物、劇物には該当しない

[魚毒性] ペノキススラム：A類、ベンゾビシクロン：A類

[対象作物に対する適用登録状況]（平成 26 年 10 月 8 日現在 JPP-NET 確認）

作物名	適用雑草名	使用方法	適応土壌	使用時期	10a 当たり 使用量	本剤の使用 回数
移植水稻	水田一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヒルムシロ、オモダカ	湛水散布	砂壤土～ 埴土	移植後 15 日～ノビエ 4 葉期 収穫 60 日前まで	1 kg	1 回

3 利用上の留意点

- (1) 初期剤あるいは初中期剤との体系処理を基本とする。
- (2) 使用上の留意事項は、「農作物病害虫・雑草防除基準（長野県）」の除草剤の使用方法（中後期除草剤）を参照する。
- (3) ベンゾビシクロン含有剤のテッケン 1 キロ粒剤は、本県育成の多収性専用品種「ふくおこし」、「ほそおもて」に対して薬害（白化～枯死）が生じることがある。また、(独)農研機構育成の一部の多収水稻品種にも薬害を生じることがある。(平成23年度(2011年度)普及に移す農業技術(技術情報)「水稻品種「ふくおこし」、「ほそおもて」の4-HPPD阻害型除草剤に対する感受性」参照。)

4 対象範囲

県下の水稻作付地帯約32,000ha

5 具体的データ

(1) 平成 25 年に農業試験場で初期剤との体系で実施した試験では、移植後 15 日処理でオモダカ、ノビエ 4 葉期処理でコナギの残草が見られたが、ノビエ等一年生雑草から難防除雑草まで実用的な除草効果が認められた(表 1)。薬害は認められなかった(データ略)。

表 1 テッケン 1 キロ粒剤の雑草防除効果^{a)} (平成 25 年、農業試験場)

除草剤名	処理時期 ^{b)} 処理量(/10a)	ノビエ	タマガヤツリ	一年生広 葉 ^{c)}	ホタルイ	オモ ダカ ^{d)}	(クロ グワイ) ^{d)}	合計
エリジャン乳剤→ テッケン 1 キロ粒剤	+0 日→+15 日 (5/14→5/29) 300ml→1 kg	0	0	t	0	10	(3)	t
	+0 日→+35 日 (5/14→6/18、ノビエ 4 葉期) 300ml→1 kg	0	0	10	t	5	(0)	2
(比較)エリジャン乳剤→ マメット SM 1 キロ粒剤	+0 日→+20 日 (5/14→6/3) 300ml→1 kg	t	0	t	t	(21)	(0)	t
無処理	—	19.4	1.9	30.0	161.2	5.1	(2.0)	217.6

a) 除草剤各処理区の数値は対無処理区比(%)。無処理区は乾物重(g/m²)。発生はあるものの、四捨五入して 0 になる場合を「t」として示した。

b) 処理時期の+は移植後日数。

c) コナギ、アゼナ、ミジハコベ、キカシグサの合計。

d) 塊茎埋め込み試験。クログワイは適用外のため合計から除外。

試験方法：試験場所は農業試験場水田ほ場(標高 340m、細粒グライ土、軽塩土)。品種は「あきたこまち」。中苗 3 本植(22.2 株/m²)。代かきは 5 月 7 日、移植は 5 月 14 日。1 区 7.2 m²、2 区制。

調査方法：移植 52 日後(7/5)に 50×50cm の枠サンプリングにて調査した。

(2) 平成 26 年に南木曾町の現地ほ場で初期剤との体系で実施した試験では、オモダカがわずかに残存したが、ノビエ等一年生雑草から難防除雑草まで実用的な除草効果が認められた(表 2)。薬害は認められなかった(データ略)。

表 2 テッケン 1 キロ粒剤の雑草防除効果^{a)} (平成 26 年、農業技術課)

除草剤名	処理時期 ^{b)} 処理量(/10a)	ノビエ	一年生広葉	ホタルイ	オモダカ	合計
ピラクロン 1 キロ粒剤→ テッケン 1 キロ粒剤	+2 日→+18 日 (6/2→6/18) 1 kg→1 kg	4	1	0	15	10
(比較)ピラクロン 1 キロ粒剤 →ザーベックス DX 1 キロ粒 剤	+2 日→+20 日 (6/2→6/20) 1 kg→1 kg	0	t	0	0	t
無処理		9.1	7.2	0.5	11.2	28.0

a)、b)は表 1 と同じ。

試験方法：木曾農業改良普及センターが実施。試験場所は南木曾町田立(標高 560m、黒ボク土、壤土)。中苗、機械移植。入水は 5 月 18 日、代かきは 5 月 26 日、移植は 5 月 31 日。1 区 6 a、反復なし。

調査方法：移植 38 日後(7/9)に 50×50cm の枠サンプリングにて、処理区は複数カ所、無処理区は 1 カ所の調査を行った。

6 特記事項

[公開] 制限なし。

[課題名、研究期間、予算区分]

普通作物の新規農薬等の効果試験、平成 25～26 年度(2013～2014 年度)、協力研究